

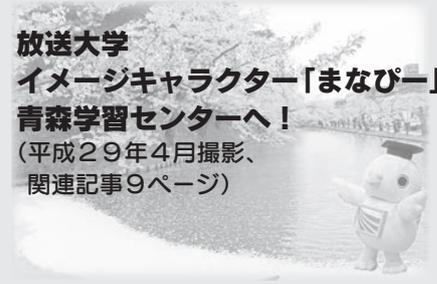
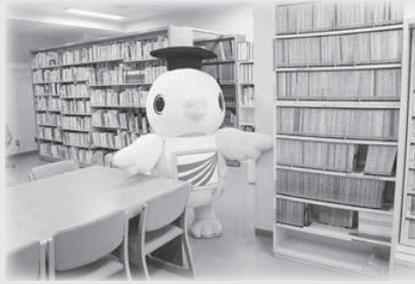
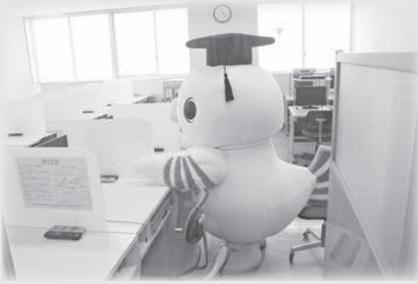
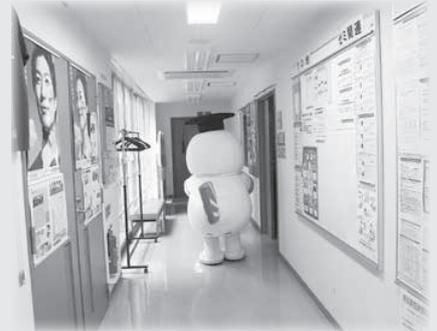
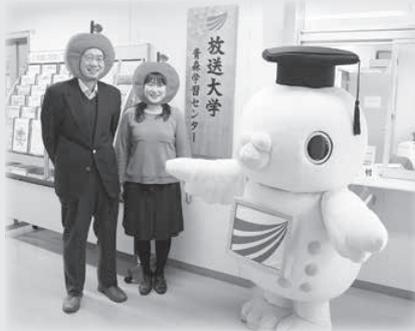
センターだよりー林檎ー

りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

平成29年7月発行



放送大学
イメージキャラクター「まなびー」
青森学習センターへ！
(平成29年4月撮影、
関連記事9ページ)



特集 春の行事レポート 学習相談会・まなびー青森SCへ 29-1 単位認定試験 / 29-2 面接授業



- 2 | 巻頭言:「伝統文化の継承」
- 3 | 学習相談会実施レポート:
「新入生のみなさま勉強のコツ教えます！」
「教えて先輩！」
- 4 | 平成29年度第1学期
単位認定試験のご案内
- 6 | 平成29年度第2学期面接授業について
- 9 | レポート:「まなびー、青森学習センターへ！」
「公開講演会実施報告」
- 10 | 次学期へむけての手続き
- 11 | 7・8・9・10月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ

巻頭言

—かんとうげん—

伝統文化の継承

八戸サテライトスペース客員教員 根城 隆幸



近年、地方創生や地域力の向上といった、地方における地域の在り方が問われています。そこには、少子化による学校の統廃合という課題もありますが、地域に根ざした貴重な文化を継承するという、特色ある学校づくりの教育活動に生かしているところもあります。

青森県の東南部に位置する階上町は、平成9・10年度の伝統文化教育推進事業を機会に、約20年が経過している現在でも、地域に伝わる伝統芸能を学校教育の中に位置付けて伝承活動を行っています。郷土の歴史や文化を学ぶことによって郷土愛の涵養や豊かな心の育成を目的に、すべての小学校がひとつの伝統芸能を取り入れて教育活動を行っています。

学習指導要領に「地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。」とあるように、学校教育の場においても地域社会との連携を図ることは、子どもたちの「生きる力」の育成に貢献する活動です。

階上町立赤保内小学校の【赤保内駒踊り】について紹介します。約200年前に、現在の五戸町切谷内の駒踊りを伝授されたと伝えられ、「腰の前後に馬のつくりものをつけ、笛・太鼓・手平鐘の“はやし”につれて円陣をつくったり、隊列になったりして、前後左右にはねまわる動作をくり返す」ものです。1の駒「庭入り」、2の駒「引き返し駒」、3の駒「廻り駒」、4の駒「休み駒」、5の駒「進み駒」、6の駒「乗り違い駒」、7の駒「庭引き」の7演目に分けられ、足を使った一定の踊りを繰り返すことで馬の様子を表しています。発表の機会は1年に4回程度あり、5月の運動会、6月の臥牛山まつり、7月の小舟渡いちご煮まつり、1月の新年親子まつりなどです。

地域に伝わる芸能を継承することの意義は、文化財を次世代に残すことを始め、地域の活性化や異世代間の交流になることは周知の事実です。

自分の生まれ育った地域は、誰にとっても心の故郷です。歴史的意義のある地域の文化財を地域住民が大切に保存していくことは、先人の働きについて理解することになり、郷土愛を養うことになります。地域の良さは、失ってからでは取り戻せません。皆さんも地域を見つめ直して生涯学習に役立ててみませんか。

● 学習相談会実施レポート ●

4月8日(土)、青森SC・八戸SSにおいて、在学生の先輩方による、新入生向け学習相談会が開催されました。勉強の取り組み方、スケジュールの立て方、試験の時の注意点など、在学生の体験談をふまえた熱心なアドバイスがありました。参加者からは不安だったことが少し解決したような安堵の表情がうかがえ、充実した相談会であったようです。

参加された学生さんからいただいた感想をご紹介します。

青森 SC

「新入生のみなさま勉強のコツ教えます！」

於：青森学習センター講義室

「勉強のコツ教えます！」を開催して」

学友会副会長 田澤 豊

複数回の卒業、学生として思うことは、目的・目標をもって放送大学に入学したが、学習に迷い、挫折していく方が多いと感じています。

好きな分野の学習ばかりでは、卒業できない。そのジレンマで、挫折に繋がるのではないかと。私も当初は、挫折の危機、乗り越えたのは、先人たちのノウハウの教えでした。

挫折を防ぎ、卒業及び知識を得るための学習方法を、経験を踏まえて、深く学習する分野と卒業に必要な単位取得方法を、私の方法をお知らせし、皆様が消化し学習方法の確立に役立てていただければと開催しております。(卒業研究・オンライン授業も経験者の説明があります。科目選択に役立ててください。)

大学は、単位を取得し卒業するだけではない。コミュカの向上も大学の役割。学習にメリハリをつけて単位取得し、各種イベント等に参加していただければ幸いです。

学友会では、イベントをいろいろ企画しております。入会して参加をお願いします。卒業の早道は、仲間がいることです。

今回の開催に際し、複数の方に参加いただき、お礼申し上げます。

学友会として、会員の増員を目指し、次回(10月)も開催予定です。参加は、在校生もOKです。



「勉強のコツ教えます！」に参加して」

全科履修生 奈良岡 修一

放送大学に入学した者にとって初期の目的が達せられるだろうかという不安があります。特に卒業を目指す人、資格取得のため受講する人にとって単位取得は避けて通れないものであります。今回の「勉強のコツ教えます！」はそういう人にとって極めて貴重な機会だったと思います。私は皆さんと目的を少し異にしており、不完全燃焼のまま卒業した大学について自分で納得したい、真の大学卒業生となることを目的として入学しています。単位取得は大学卒業の必須条件ではありますが、テクニックに溺れることなく、真理の追究をすることが結果的に成績につながります。お互いに目的が違っていても、ゆっくり着実に勉強を続けて行きましょう。

八戸 SS

「教えて先輩！」

於：ユートリー4階デザイン室

「教えて先輩!開催しました」

ミステリーサークル総長 上野 光弘

4月8日(土) 午後に、ミステリーサークルと同窓会主催による学習相談会「教えて先輩!」を八戸で開催いたしました。

新入生と在校生合わせて20名以上の参加者となり、大いに賑わいました。

開催日が入学式の次の週ということもあり、新入生は期待と不安が交ざり合う中、今後の勉強方法について真剣に相談されていました。

科目登録を○科目登録したけどやって行けるか心配されている方、心理資格の取得方法を知りたい、今後大学院へ進学したいので具体的に受験から卒業までのことを教えてほしいなど、内容も多岐にわたるものでした。

サークルでは、学習相談をサポートしておりますので気軽にご相談ください。



「さらなる成長に向かって」

科目履修生 吉田 雅昭

私は、以前、通信制大学で学んでおりました。その時、社会人として働きながら、自己管理のもとで計画的な学習を行うには強い精神力が必要で、非常に苦労しました。そこで、この苦い経験から「教えて先輩!」への参加を決めました。人生経験が豊富な先輩の方々から、授業を始め今後の学習経験の生かし方など新入生の多岐にわたる質問に対して、丁寧かつ的確にお答えいただき、充実したひと時を過ごすことができました。新入生からは、やはり、直近のレポート提出や試験のための具体的な学習方法への質問が多かったようです。私たちは、先輩の助言によって、新しい知識を獲得し、学習を通じて人間的にもさらに成長したいと思います。

平成29年度第1学期 単位認定試験のご案内

放送授業を科目登録し、通信指導に合格した方は単位認定試験を受験することができます。試験日の約1週間前までに大学本部から送付される「単位認定試験通知(受験票)」と、受験票に同封される「単位認定試験受験に際しての注意事項」を必ず確認してください。

試験日時・試験会場

- 大学院…7月21日(金)・7月22日(土)
 - 教養学部…7月23日(日)～7月30日(日)
- ※7/24(月)・7/28(金)・7/31(月)・8/1(火)は閉所日です。

●青森学習センター

- ・大学院：青森学習センター講義室
 - ・教養学部：コラボ弘大8階八甲田ホール
：青森学習センター講義室(注)
- (〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大内)

●八戸サテライトスペース

- ・大学院：ユートリー4階研修室
 - ・教養学部：ユートリー5階視聴覚室
：ユートリー4階伝統工芸室(注)
- (〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22
八戸地域地場産業振興センター(ユートリー)内)

(注) 7/23(日)・7/26(水) のリスニング科目試験会場

※必ず「単位認定試験通知(受験票)」で試験日時・会場を確認してください。

-試験時間割-

| 時限 | 時間 |
|-----|-------------|
| 1時限 | 9:15～10:05 |
| 2時限 | 10:25～11:15 |
| 3時限 | 11:35～12:25 |
| 昼休憩 | |
| 4時限 | 13:15～14:05 |
| 5時限 | 14:25～15:15 |
| 6時限 | 15:35～16:25 |
| 7時限 | 16:45～17:35 |
| 8時限 | 17:55～18:45 |

※試験開始10分前までに入室してください。
※遅刻は試験開始後20分まで認めますが、試験時間の延長は認めません。

座席

座席はすべて科目ごとの指定となります。

- ・試験会場入口に「座席表」が掲示されています。受験する科目に該当する座席番号を確認してください。
- ・試験室の机には番号が貼られていますので、確認した番号の範囲で空いている席に着いてください。
- ・新規登録科目と再試験科目の試験時限が重なった場合は、どちらか1科目を選択し、該当科目の席に着いてください。

受験の際に必要なもの

- ① **単位認定試験通知(受験票)**
7月13日(木)になっても受験票が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部に連絡してください。
(電話:043-276-5111 (総合受付))
- ② **学生証**
学生証が未交付または有効期限切れの方は、右記をご参照ください。
- ③ **持込み許可物品(科目により異なります。)**
受験票に同封されている「単位認定試験時間割」で確認してください。また、各科目の解答形式(択一式・記述式・両者併用式)も記載されていますので、あわせて確認してください。
※試験の約1ヶ月前から学習センター・サテライトスペース掲示板やキャンパスネットワークホームページでも確認できます。
- ④ **筆記用具**
筆記用具はHBの黒鉛筆を使用してください。



学生証の交付手続きはお済みですか？

学生証は、単位認定試験受験時に受験票とともに必ず机上に提示していただきますので、試験前までに必ず所属の学習センター・サテライトスペース窓口にて交付を受けてください。

交付を受ける際には、新規入学・継続入学生は入学許可書を、在学生在学生証の有効期限切れの方は有効期限切れ学生証をお持ちください。

なお、大学本部へ顔写真を登録していない方は学生証の発行ができませんので、システムWAKABAの「学生カルテ」または「学生生活の栞」巻末様式の「写真票」使用にて登録をお願いします。

結果

8月下旬に大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。

再試験

今学期登録した科目で、単位を修得できなかった場合は、次の学期に学籍がある場合に限り（休学中を除く）、科目登録をしなくても再試験を受験できます。（再試験に係る授業料等はかかりません。）

今学期で在学期間が終了する方は、出願期間に次の学期の入学出願を行い、学籍を継続してください。（この場合、他に受講希望科目がなければ、出願時の学費は入学料のみとなります。）

ただし、再試験科目と同じ試験時間に新規科目を登録すると、どちらか1科目しか受験できません。

自習室について

試験期間中には、下記施設を自習室として開放します。利用にあたっては、下記注意事項と当日の掲示物を必ず確認してください。

●青森学習センター

青森学習センター講義室

7月23日（日）～7月30日（日）の9：00～18：00利用可能（※7/24・7/28を除く）

※試験対応のため利用できない場合があります。その場合は、当日の掲示物にてお知らせしますので、視聴学習室またはコラボ弘大1階の自習スペースをご利用ください。

●八戸サテライトスペース

ユートリー5階異業種交流室

7月21日（金）～7月30日（日）の9：00～18：00利用可能（※7/24・7/28を除く）

【自習室利用時の注意事項（青森・八戸共通）】 ※厳守願います。

- ①自習室の定員には限りがあるため、ご利用は先着順とします。
- ②退室する際は、忘れ物のないようご注意ください。
- ③自習室での私語は一切禁止します。

その他注意事項

●単位認定試験期間中は、図書室・視聴学習室の開所時間に変更になりますので、ご注意ください。

・青森学習センター 9：00～19：00

・八戸サテライトスペース 9：00～18：45

●カンニング、身代り受験、その他試験の秩序を乱す行為等があった場合は、受験無効および懲戒の対象となります。また、持ち込みが認められていない印刷教材等を参照することは不正行為として取り扱われますので、十分注意してください。

●天災、交通機関の事故、大雨・台風等による交通機関のまひ、その他受験生の責任に帰さないやむを得ない事態等（ただし、自家用車等使用時の事故等は除く）により、受験が不可能になった場合は、学習センター・サテライトスペースにご連絡ください。

●試験問題を持ち帰ることはできません。

駐車場

●青森学習センター

単位認定試験の際は、公共交通機関をご利用ください。

やむを得ない事情により自動車でお越しの際は、満車により駐車できない場合がある旨をあらかじめご了承ください。

●八戸サテライトスペース

ユートリー立体駐車場を3時間以上ご利用の場合は、当日限り有効で500円に割引となる「イベント券」を発行しますので、事務室窓口にお申し出ください。

平成29年度第2学期 面接授業について

放送大学では、全国の学習センター等において「面接授業(スクーリング)」を実施しています。面接授業は、直接教員から指導を受ける機会として重要であるばかりでなく、学生相互の交流・啓発の場としても広くご利用いただいております。

面接授業とは

- 1科目1単位。(放送授業は1科目2単位)
- 授業料は1科目5,500円。(全8回分)
- 1時間25分・全8回の授業を受講し、出席状況及び学習状況が良好な場合に単位が与えられます。
- 全国の学習センター等で年間約3,000クラスを開講、幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。
- 学生の方々が出席しやすいよう、全国で約8割の科目が土・日に開講されています。
- 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業の単位を20単位以上修得することが必須ですが、選科履修生・科目履修生も、自分の学習したい内容にあわせた面接授業を受講することが可能です。

在学生の科目登録

在学生の方は、下記の期間に放送授業とともに科目登録申請を行ってください。

なお、在学生には平成29年7月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。

- 「科目登録申請票」による申請期間…8月15日(火)～8月30日(水) 私書箱必着
- システム WAKABA による申請期間…8月15日(火) 9:00～8月31日(木) 24:00

入学学期当初からの科目登録

下記要件を満たした方は、入学学期当初から面接授業を登録できます。

全科履修生、選科履修生、科目履修生のすべての学生種の方が登録できますが、以下のように入学の区分により手続き方法が異なります。詳細は「学生募集要項」にてご確認ください。

- ① 新規入学生
- ② 過去に放送大学を卒業または在籍したことがあるが、平成29年度第1学期に学籍のない方
7月14日(金)までに出席し、8月4日(金)までに学費を納入し、かつシステム WAKABA (インターネット) による科目登録申請を行う方のみ、学期当初から面接授業を登録できます。
在学生の科目登録期間中(8月15日(火)～8月31日(木))に、入学許可書に記載のログイン ID とパスワードを使用して、システム WAKABA (インターネット) にアクセスし、科目登録を行ってください。
- ③ 継続入学生(平成29年度第1学期に学籍があり、継続して入学される方)
在学生の科目登録期間中(8月15日(火)～8月31日(木))にシステム WAKABA (インターネット) にて出席を行う方のみ、学期当初から面接授業を登録できます。

学期途中での追加科目登録

科目登録決定後に、さらに定員に余裕がある科目については、下記の2つの申請方法にて追加科目登録を受け付けます。青森 SC・八戸 SS 開設科目については、来所のほか郵送による申請も可能です。

- 空席状況発表日…10月14日(土) 12:00 キャンパスネットワークホームページにて

1. 追加科目登録 事前申請…事前に申込みをして予約をし、登録が決定した後で授業料を納付します。

- (1) 受付期間 10月14日(土) 12:00～10月19日(木) 18:30 (青森 SC・八戸 SS とも)
申請方法 来所の場合…①追加科目登録申請書 ②学生証 の2点を青森 SC または八戸 SS へ持参してください。

郵送の場合…①追加科目登録申請書(学生証のコピー貼付)を青森 SC へお送りください。
※事前申請にて受け付けるのは申請書のみです。お金は送らないでください。

- (2) 申請者には、登録申請結果の可否を10月20日(金) 10:30～12:00の間に電話連絡しますので、時間内に必ず連絡が取れるようにしてください。(申込み多数の場合は抽選となります。)

⇒事前申請申込み方法 次ページへつづく

(3) 登録が許可された学生は、来所または郵送により授業料を納付してください。

※郵送で納付する場合は、①授業料 ②返信用封筒(長形3号・82円切手貼付・宛名明記)の2点を必ず「現金書留」にて青森 SC へお送りください。

2. 追加科目登録 先着申請…事前申請の登録決定後、なお空席のある科目について実施します。

希望者は、事前にシステムWAKABAの空席状況リアルタイム表示、または電話にて青森 SC・八戸 SS へ空席状況をご確認のうえお申込みください。

●システム WAKABA 空席状況リアルタイム表示開始…10月20日(金) 15:00～

(1) 受付期間 **10月20日(金)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで**

受付時間 平日・・・青森 SC・八戸 SS とともに18:30まで

土日・・・青森 SC は18:00、八戸 SS は17:30まで

※月曜日と祝日(閉所日)を除く。 ※郵送の場合は科目ごとの受付期限日必着。

申請方法 来所の場合…①追加科目登録申請書 ②学生証 ③授業料 の3点を青森 SC または八戸 SS へ持参してください。

郵送の場合…①追加科目登録申請書(学生証のコピー貼付) ②授業料 ③返信用封筒(長形3号・82円切手貼付・宛名明記)の3点を必ず「現金書留」にて青森 SC へお送りください。

●注意事項

- ・申請した科目はすべて登録の対象となります。(ただし満席となった場合は登録できませんので、その場合はご了承ください。)
- ・授業日程が重複する複数の科目を申請した場合は、先に記載された1科目を登録科目として扱います。
- ・電話・FAX・Eメールによる受付はできません。
- ・郵送の場合はすべて青森学習センター宛に送付してください。八戸サテライトスペースでは受付できません。
- ・受講に際しては、教科書や辞書等使用物品を必ずご確認ください。

トピック

平成29年度第2学期も
地域の特色を生かした面接授業を開講します!



第2学期の開講科目の中から、ぜひおすすめしたい授業をご紹介します。詳細は、7月中旬に届く面接授業時間割表をご覧ください。

★青森学習センター「白神学-白神の動物と植物」

10/21(土)・22(日) / 講師:石川 幸男(弘前大学白神自然環境研究所・教授)他2名

北半球の中緯度における冷温帯生態系の典型的な残存例と評価されている白神山地の豊かな生態系の成り立ちや仕組み、生物多様性の実情、将来の展望などについて講義します。本講義は野外でも実施し、白神山地に生息・生育する生物を直接に触れて観察していただいたり、解説を聞いていただくことによって、受講者の皆さんにこの地域の豊かな自然を体感していただくことを心がけています。

👉例年夏に開講していましたが、今年度は紅葉の季節、秋に開講です!

★八戸サテライトスペース「是川遺跡から学ぶ考古学」

12/2(土)・3(日) / 講師:市川 健夫(八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館・主査兼学芸員)他1名

是川遺跡は、縄文時代終末の亀ヶ岡文化、漆文化を代表する遺跡です。戦前から学会で注目を集め、是川遺跡とその出土品を活用した研究は、日本考古学の進展に深く関わってきました。これまでの是川遺跡の調査・研究の成果を通じて、出土品見学や縄文土器作り実習をまじえながら、日本考古学の研究の広がりや最新の縄文文化研究についてわかりやすく解説し、考古学や縄文文化、縄文人のものづくり技術に対する理解を深めます。

👉是川遺跡に関する授業、初開講です!縄文土器作成実習を行います。

青森学習センター・八戸サテライトスペース開講科目

青森学習センター

| 科目区分 | 科目コード | クラスコード | 科目名(担当講師) | 会場 | 開講日 | 定員 |
|----------------|---------|--------|---|--|------------------------------------|----|
| 基盤科目 | 2475570 | K | 身近なデータから学ぶ統計の話 (永瀬 範明 先生) | 青森県観光物産館 アスパム内会議室 | 10月28日(土) 1～4時限 10月29日(日) 1～4時限 | 40 |
| 基盤科目: 外国語 | 2475588 | K | 英語能力:複雑・正確さ・流暢さ (ラウシュ アンソニー スコット 先生) | 青森学習センター | 11月25日(土) 1～4時限 11月26日(日) 1～4時限 | 40 |
| 導入科目: 自然と環境 | 2475596 | K | 宇宙の広がりを知る (倉又 秀一 先生) | 青森学習センター | 2月1日(木) 1～4時限 2月2日(金) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 生活と福祉 | 2475600 | K | 食生活から考える健康維持と寿命 (土谷 庸 先生) | 青森県観光物産館 アスパム内会議室 | 11月25日(土) 1～4時限 11月26日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 心理と教育 | 2475618 | K | 心理学実験3 (平岡 恭一 先生) | 青森学習センター | 11月4日(土) 1～4時限 11月5日(日) 1～4時限 | 20 |
| | 2475626 | K | 脳の活動から心を探る (藏田 潔 先生) | 青森学習センター | 11月18日(土) 1～4時限 11月19日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 社会と産業 | 2475634 | K | 社会の中で萌芽する技術 (日比野 愛子 先生) | 青森学習センター | 10月28日(土) 1～4時限 10月29日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 人間と文化 | 2475642 | K | 寺山修司まるごと体験 (久慈 きみ代 先生) | 青森県観光物産館 アスパム内会議室 | 11月4日(土) 1～4時限 11月5日(日) 1～4時限 | 40 |
| | 2475650 | K | 縄文時代の暮らしと文化 (上條 信彦 先生) | 青森学習センター | 11月11日(土) 1～4時限 11月12日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 情報 | 2475669 | K | プログラミングの初歩 (佐藤 友暁 先生) | 弘前大学総合教育棟 2階情報処理演習室 | 12月2日(土) 1～4時限 12月3日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 自然と環境 | 2475677 | K | 白神学-白神の動物と植物 (石川幸男先生・中村剛之先生・山岸洋貴先生) | 青森学習センター、 弘前大学白神自然観察園 (10/21の3時限目から) | 10月21日(土) 1～4時限 10月22日(日) 1～4時限 | 30 |

八戸サテライトスペース

| 科目区分 | 科目コード | クラスコード | 科目名(担当講師) | 会場 | 開講日 | 定員 |
|----------------|---------|--------|-------------------------------------|-----------------------|------------------------------------|----|
| 基盤科目 | 2475685 | Q | 裁判員裁判のための法的推論 (高須 則行 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 12月16日(土) 1～4時限 12月17日(日) 1～4時限 | 40 |
| 導入科目: 人間と文化 | 2475693 | Q | 是川遺跡から学ぶ考古学 (市川 健夫 先生・小久保 拓也 先生) | 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 | 12月2日(土) 1～4時限 12月3日(日) 1～4時限 | 30 |
| 専門科目: 生活と福祉 | 2475707 | Q | 社会福祉学への招待 (赤羽 卓朗 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 11月11日(土) 1～4時限 11月12日(日) 1～4時限 | 40 |
| | 2475715 | Q | 病む人の心と看護ケア (浜中 のり子 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 12月9日(土) 1～4時限 12月10日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 心理と教育 | 2475723 | Q | 心理学実験2 (金地 美知彦 先生・山本 雄大 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 11月4日(土) 1～4時限 11月5日(日) 1～4時限 | 20 |
| 専門科目: 社会と産業 | 2475731 | Q | 人工知能と次世代セキュリティ (清水 能理 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 10月21日(土) 1～4時限 10月22日(日) 1～4時限 | 40 |
| | 2475740 | Q | 土木・都市と文明 (阿波 稔 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 11月18日(土) 1～4時限 11月19日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 人間と文化 | 2475758 | Q | 楽器から考える人間と文化 (富田 晃 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 10月14日(土) 1～4時限 10月15日(日) 1～4時限 | 40 |
| 専門科目: 自然と環境 | 2475766 | Q | 身のまわりの微生物 (西村 順子 先生) | ユートリー5階 視聴覚室 | 10月28日(土) 1～4時限 10月29日(日) 1～4時限 | 40 |

放送大学本部で発行している広報誌「ONAIR」で連載されている企画『まなびーと学習センターをめぐる』の取材のため、平成29年4月、放送大学のイメージキャラクター、まなびーが青森学習センターにやってきました。この記事は、「ONAIR No.124 (6月発行)」に掲載されています。今回、りんご7月号では、ONAIRに掲載しきれなかった写真と学生リポーターの方からの感想をご紹介します。

『学生リポーターを引き受けて』

全科履修生 五十嵐 祐子



所長、五十嵐さんとまなびー。
青森SC入口にてパチリ。

「青森学習センターの紹介があるのだけれど」と話を持ち掛けられたのは、東京での学位記授与式後の祝賀会でのことでした。

私は今年3月に社会と産業コースで放送大学初卒業となり、NHK ホールでの学位記授与式に出席、喜びと感動を胸に祝賀パーティーへ。そこで、懇談中に舞い上がった気持ちのまま、「そうですか」と安請け合ってしまった。その後、事務長より丁寧な説明があり、「オンエア」のほかの学習センターの紹介記事を参考に写真さえ撮れば、さほどのこともなかつたと思って引き受けました。

さて、スケジュールが決まり写真撮影です。まなびーと倉又所長と共に学習センター入口で1枚。まなびーができるまで?を見届けられ、ラッキーでした。また4月29日昭和の日には、弘前公園での学友会観桜会で1枚。満開の桜で楽しい観桜会となりました。青森学習センターの紹介として、良い写真となったと思います。

しかし、放送大学の学生は一堂に会することがないため、誰がどこで「オンエア」を見ているかわかりません。そう考えると、自分でよかったのかと恐縮してしまうし、良い学習センターの紹介となったのかと不安です。ただ私のできることとして、青森学習センターの学生として恥ずかしくないよう日々の行動に気を付けようと思います。もちろん、勉強もしていきます。



学友会観桜会に参加するまなびー。



青森 SC 内を見学するまなびー。(左から、「事務室窓口」→各種ご相談を受付します 「図書室」→図書や教材の利用・貸出手続きを受付します 「視聴学習室」→放送教材の視聴学習はこちらどうぞ 「廊下」→各種お知らせが掲示してあります)



(左)「学生控室」→昼食や休憩に利用できます。学友と出会う場になることも。(中央)「講義室」→面接授業・客員教員ゼミ・サークル活動等で使用しています。岩木山と八甲田連峰を望むことができる最高の学習環境です。(右)講義室での客員教員ゼミに参加するまなびー。



八戸SS職員とミニまなびー。

★青森の旅を満喫して帰ったまなびーでした。今回は残念ながら、八戸サテライトスペースへ寄ることができなかった、まなびー。次の機会に期待しましょう。

青森学習センターの記事が掲載されている「ONAIR No.124」は、放送大学本部より学生さん方のお手元にも送付されますので、りんご7月号とあわせて、ぜひご覧ください。



まなびーも感動した弘前公園の桜。

公開講演会実施報告

去る3月10日(金)、青森市民図書館・放送大学青森学習センター初のコラボ企画講演会、『青森県の天文の先駆者☆一戸直蔵☆☆前原寅吉☆』が、青森市民図書館8階会議室2において開催されました。

講師は、青森学習センターの倉又秀一所長。参加された15名の方々は、青森県の津軽と南部に生まれ、活躍した天文学の先人、一戸直蔵と前原寅吉についての講話に、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。



次学期へむけての手続き

次学期も学籍が続く方

科目登録申請が必要です。7月中旬に大学本部より送付予定の「科目登録申請要項」を参照のうえ、科目登録申請を行ってください。

- 申請期間 郵送…8月15日(火)～8月30日(水) 私書箱必着
WEB…8月15日(火) 9:00～8月31日(木) 24:00



※学部生は、放送授業のほか面接授業の科目登録もあわせて行ってください。
※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。

(電話: 043-276-5111 (総合受付))

※WEB(システム WAKABA)からも科目登録申請できます。ただし、郵送かWEBかどちらか一つの方法にて手続きしてください。

全科履修生が科目登録申請および授業料納入を4学期間(2年間)続けて行わない場合は除籍となります。現在3学期間にわたって科目登録をしていない方は、この期間にぜひ科目登録をされることをおすすめします。

継続入学出願が必要です。「継続入学用出願票」や通常の出願票でのほか、システム WAKABA の画面左側メニュー欄「継続入学申請」からも継続出願できます。

- 出願期間 郵送…6月15日(木)～9月20日(水) 私書箱必着
WEB…6月15日(木) 9:00～9月20日(水) 24:00
※WEB出願の場合でも、証明書類は9月20日(水) 私書箱必着

※平成29年度第1学期に登録した科目の通信指導再提出・再試験のみを次学期に希望する場合も、学籍継続のために出願する必要があります。出願票裏面の「科目登録欄」の「今回の出願は通信指導の再提出資格または単位認定試験の再試験受験資格を得るためだけの出願ですか?」の問で「はい」欄に○を記入してください。その際の授業料は不要で、入学料のみ必要となります。ただし、平成29年度第1学期単位認定試験に合格した場合は、出願は無効となります。

※過去に全科履修生として在籍したことのない選科・科目履修生が全科履修生として入学希望の場合は、「継続入学用出願票」では出願できませんので、「平成29年度第2学期出願票他提出書類セット」に綴じこまれている出願票にて出願してください。

※集団入学または共済組合を利用して入学した方および自主退学者には、継続入学関連書類は送付されませんので、出願される方は「平成29年度第2学期学生募集要項」を入手のうえ出願してください。

※郵送かWEBかどちらか一つの方法にて出願してください。

※次学期当初より面接授業の科目登録を希望の方は、在学生の科目登録申請期間である8月15日(火)～8月31日(木)にシステム WAKABA にて出願し、放送授業科目登録後に面接授業科目を登録してください。

9月末で学籍が切れる方

卒業見込みの方

●本部から送付される「平成29年度第1学期末卒業が見込まれる皆さまへ(再入学のご案内)」をご覧ください。

●次学期も学籍が続く場合と、今学期で学籍が切れる場合では、手続きが異なります。詳細は本部から送付される再入学のご案内、または「学生生活の栞」P90～93にてご確認ください。



7月・8月・9月・10月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 単位認定試験
 試験
 貸出停止期間
 利用停止期間

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 7月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | | 1 |
| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 8月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 9月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 | 2 |
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

| | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 10月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| | 29 | 30 | 31 | | | | |

7月

- 9日(日) 卒業研究ガイダンス(青森)
- 21日(金) 平成29年度第1学期単位認定試験(大学院)《~7/22》
- 23日(日) 平成29年度第1学期単位認定試験(教養学部)《~7/30》
- 28日(金) 単位認定試験期間中閉所日
- 面接授業■
 - 1日(土)~2日(日) 「はじめからのパソコン操作」(青森)
「ハイブリッドカーの技術」(八戸)
 - 8日(土)~9日(日) 「内界表現と個人的当為の措定」(八戸)
 - 15日(土)~16日(日) 「はじめて学ぶ簿記」(八戸)

8月

- 1日(火) 単位認定試験最終日翌々日閉所日
- 12日(土)~13日(日)、15日(火)臨時閉所日※青森・八戸
- 15日(火) 平成29年度第2学期科目登録申請開始
《締切・郵送:8/30、WEB:8/31 24時》
- 19日(土) 教員免許更新講習 修了認定試験《~8/20》
- 30日(水) 平成29年度第2学期科目登録申請締切(郵送必着)
- 31日(木) 平成29年度第2学期科目登録申請締切(WEB24時迄)
平成29年度第2学期第1回出願締切
(教養学部、大学院修士選科・科目生)
平成30年度修士全科生・博士全科生出願締切

9月

- 1日(金) 平成29年度第2学期第2回出願受付開始《~9/20》
(教養学部、大学院修士選科・科目生)
- 17日(日) 臨時閉所日※青森のみ
放送教材・図書の室外貸出停止《~9/30》
- 20日(水) 平成29年度第2学期第2回出願締切
(教養学部、大学院修士選科・科目生)
- 24日(日) 図書室・視聴学習室の利用停止《~9/30》
- 29日(金) 平成29年度看護師資格取得に資する科目(夏季集中型)
単位認定試験《~9/30》

10月

- 1日(日) 平成29年度第1学期学位記授与式・平成29年度第2学期入学者のつどい(青森)
- 8日(日) 平成29年度第1学期学位記授与式・平成29年度第2学期入学者のつどい(八戸)
- 14日(土) 平成29年度第2学期面接授業空席発表
追加登録事前申請受付開始《~10/19》
- 20日(金) 平成29年度第2学期面接授業
追加登録先着申請受付開始(~各科目の受付期限まで)
- 面接授業■
 - 14日(土)~15日(日) 「楽器から考える人間と文化」(八戸)
 - 21日(土)~22日(日) 「白神学-白神の動物と植物」(青森)
「人工知能と次世代セキュリティ」(八戸)
 - 28日(土)~29日(日) 「身近なデータから学ぶ統計の話」(青森)
「社会の中で萌芽する技術」(青森)
「身のまわりの微生物」(八戸)

新学期準備に伴う室外貸出停止・利用停止について

新学期準備のため、下記の期間は放送教材と図書の室外貸出、図書室・視聴学習室の利用を停止します。今学期に貸出された放送教材は、9月22日(金)までにご返却をお願いいたします。

- 放送教材・図書の室外貸出停止期間：9月17日(日)~30日(土)
※ただし、夏季集中科目履修生を除く。
- 図書室・視聴学習室の利用停止期間：9月24日(日)~30日(土)

臨時閉所日について

下記の期間を臨時閉所いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いたします。

- 【臨時閉所日】
- | | | |
|----------|---|--------|
| 8月12日(土) | } | ※青森・八戸 |
| 8月13日(日) | | |
| 8月15日(火) | | |
| 9月17日(日) | | ※青森のみ |



事務局からのお知らせ



住所変更手続きについて (詳細「学生生活の栞」教養学部版p84、大学院版p74参照)

入学後、「現住所」「連絡先の電話番号」に変更があったときは、速やかに『住所等変更届』(「学生生活の栞」巻末様式4、大学院は様式3)を下記宛先へ提出してください。(システム WAKABA から届け出できます。)なお、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。通信制大学にとっては、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

- 提出先 教養学部・所属の学習センター・サテライトスペース
大学院・修士全科生・大学本部教務課大学院企画・入試係
修士選科・科目生・大学本部学生課入学・履修係

平成29年度第2学期入学生募集 [出願期間: 6/15(木) ~ 9/20(水)]

お知り合いに放送大学をご紹介ください!! 教養学部生、大学院修士選科・科目生を募集中です。皆様のお近くにおられるご友人・知人、ご家族・ご親戚にも、ぜひ放送大学へのご入学をおすすめさせていただきますよう、ご協力をお願いいたします。募集要項を事務局窓口にもご用意しておりますので、必要部数をご請求ください。わかりにくい点がございましたら、学習センター・サテライトスペースにお問い合わせください。

「個別相談会」実施中です!! 「入学・出願」に関するお一人お一人の相談をお受けする、予約制の「個別相談会」も実施しておりますので、お気軽にご相談・ご質問を!視聴学習室での放送授業科目の視聴体験や、図書室見学も可能です。ぜひ、学習センター・サテライトスペースにお出かけください。

平成30年度入学修士全科生・博士全科生募集 [出願期間: 8/15(火) ~ 8/31(木)]

大学院修士全科生および博士全科生を募集します。

修士全科生は修士課程を修了して「修士(学術)」の学位取得を目指す学生、博士全科生は博士後期課程を修了して「博士(学術)」の学位取得を目指す学生です。入学資格を満たす方に対し入学者選考(筆記試験、面接試験)を行ったうえで入学を許可します。募集要項をご希望の方は、お気軽に学習センター・サテライトスペースへお問い合わせください。

公開講演会のご案内

日時: 7月12日(水) 13:30~15:00

演題: 生活習慣と感染予防

講師: 高橋 徹 氏

(弘前大学大学院保健学研究科 教授)

会場: 黒石市産業会館4階大会議室

日時: 8月25日(金) 13:00~14:30

演題: 目からウロコの健康の話

講師: 中路 重之 氏

(弘前大学大学院医学研究科 特任教授)

会場: 青森県民福祉プラザ県民ホール

ご都合のつく方はぜひご参加ください!

職員の紹介

【青森学習センター】

センター所長: 倉又 秀一 教務主任: 小田桐 昭人
 事務長: 土岐 欣一 教務担当: 藤田 治華
 総務主任: 西沢 勝則 教務担当: 比内 尚子
 総務担当: 細野 拓也 受付・図書担当: 須藤 沙織
 受付・図書担当: 徳差 久恵



【八戸サテライトスペース】

総括主任: 四戸 康雄
 受付・図書担当: 佐藤 香織
 受付・図書担当: 赤坂 春花



よろしくお願いたします!!

青森学習センター 〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階
 TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 Twitter: @aomoricenter

八戸サテライトスペース 〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 八戸地域地場産業振興センター(ユートリー4階)
 TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667

青森学習センターむつ校 〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内
 TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400 (※学習相談等のお問い合わせは青森 SC へ)

青森学習センターあおもり校 〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)
 TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400 (※学習相談等のお問い合わせは青森 SC へ)

放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp/>